

8月度 J A G E S 研究会参加報告

平成 26 年 8 月 5 日～6 日に千葉大学医学部の同窓会館で行われた JAGES 研究会に参加してまいりました。会場は千葉駅からバスで 15 分ほどの緑豊かな千葉大学キャンパスの中にあり、完成後数ヶ月というとても新しい建物でした。あまりの暑さに写真を撮るのを忘れていました。

さて、今までにも何度か JAGES 研究会参加報告があったと思いますが、JAGES について、改めて御紹介したいと思います。JAGES というのは Japan Gerontological Evaluation Study (日本老年学的評価研究) の略です。近藤克則先生 (千葉大予防医学センター・教授) が 2000 年以前に愛知県で立ち上げたプロジェクト (以前は AGES : Aichi Gerontological Evaluation Study) を 2010 年から全国展開しているもので、2013 年調査では新潟市が調査地域の一つとして参加しました。研究会は月に 1 回のペースで行われており、若手の研究者中心に 30～50 名程度の研究者が集まり、毎回、かなり熱い討論が繰り広げられます。細かい統計手法の議論になることもあり、勉強になります。

今回は、今後の JAGES のデータを使った解析の計画を発表させてもらいました。肺炎やインフルエンザの発生や入院がソーシャルキャピタルと関連するか？という研究計画に対し、多くの意見やコメント、提言をもらいました。このようなポジティブで活発な議論の中から、今までも JAGES 研究グループは多くの研究成果を出してきたのだと思いました。新潟からも JAGES グループの知恵と経験に学びながら、世界に発信できる研究成果を出していきたいと思います。